

# 公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

## 大学院進学支援〈あくなき探求〉奨学金

### 2023年度 奨学生募集要項

物事を自身の目で見て状況を理解し、日々小さな変化を起こすことを大切に事業の礎を築き、社会に貢献した当財団設立者佐藤陽。その理念〈あくなき創造〉に由来するこの〈あくなき探求〉奨学金は、小さな疑問から真理・原理の追及への第一歩を踏み出す大学院修士課程の学生を支援します。

#### I. 支援内容

1 奨学金	月額100,000円	2024年4月～2026年3月 2か月毎に本人口座に振込み
2 進学準備金	学部卒業時に大学院進学準備一時金として480,000円を支給	2024年3月 本人口座に振込み
3 授業料補助金	授業料免除を受けていない学生に対し年間600,000円を限度として支給	申請に基づき、審査のうえ決定額を本人口座に振込み
4 学会出席補助金	学会登録料、参加費及び出席旅費等を年間200,000円を限度として支給 一年目に余剰が出た場合は翌年度分に繰越加算	
5 活動費補助金	研究のために必要不可欠な活動の資金として年間500,000円を限度として支給	
6 自宅外補助金	距離的に自宅通学できない学生に対し月額30,000円を限度として支給	

#### II. 採用人数 5～6名

### Ⅲ. 応募資格

以下の事項すべてに該当すること

1. 指定大学学部4年に在籍し、大学院修士課程への進学が決定又は内定している日本国籍を有する学生

(進学先は、関東7都県在の大学院であれば指定大学以外でもよい。決定又は内定している大学以外の大学院受験予定がある場合は必ず申請書に記載のこと)

2. 在籍大学の推薦を受けていること
3. 当財団の設立者佐藤陽の理念を理解し、グローバルな視野と社会への貢献を意識していること
4. 奨学生として採用された後、隔月で開催される交流会等に出席できること

### Ⅳ. 応募方法

以下の書類を大学を通じて提出

1	大学推薦書	別紙1-①	大学記入
2	申請書	別紙1-②	本人自筆
3	指導教員推薦書	別紙2	指導教員記入(できれば自筆) 厳封
4	エッセイ	別紙3	本人自筆
5	卒論の概要	A4用紙1枚	ワープロ可
6	修士課程研究計画	A4用紙1枚	
7	学業成績証明書		
8	修士課程合格証明書		

### Ⅴ. 提出期限及び提出先

提出期限 2023年11月7日(火)

提出先 公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団 事務局

108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号 田町ステーションタワーN

電話 03-6435-3388

URL <http://www.sisf.or.jp>

E-mail [sisf@sato-global.com](mailto:sisf@sato-global.com)

## VI. 選考及び結果通知

1. 書面選考 2023年12月上旬
2. 面接選考 2023年12月14日(木)  
オンラインにて実施
3. 結果通知 2023年12月下旬

## VII. 留意事項

当財団ホームページに掲載の「奨学生規則」を事前に確認、理解の上応募のこと

## VIII. 個人情報の保護について

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、この選考の目的のみに使用します。ただし、奨学金受給状況確認のため合格者名簿を大学及び他の奨学団体に提示することがあります。

## 大学院進学支援〈あくなき探求〉奨学金 大学推薦書

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

代表理事 藤田 昌子殿

大学名:

推薦者職名・氏名:

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の大学院進学支援〈あくなき探求〉奨学生候補者として、下記の学生を推薦致します。

氏名		フリガナ			
生年月日		年 月 日			
学部・学科		学部		学科 年	
合格・内定済	進学先 大学院	大学		研究科 専攻	
	進学先 研究室名	指導教員名			
上記以外の 大学院を受験 する場合		大学 (合格発表: 年 月 日 予定)			
		大学 (合格発表: 年 月 日 予定)			

記入年月日: 2023年 月 日

担当部署

住所			
部署名			
担当者氏名			
電話番号		FAX 番号	
E-mail			

## 申請書

受付番号

## 写真貼付 (カラー)

3ヶ月以内に撮影したものを貼付のこと

4.5×3.5 cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入のこと

氏名						
	パスポート記載の英文					
住所	〒 _____					
電話番号						
E-mail						
学歴	No.	期 間	学校名		専攻	経歴
	1	年 月から 年 月まで	高校			卒業・中退
	2	年 月から 年 月まで				編入・入学 卒業・中退
	3	年 月から 年 月まで				編入・入学 卒業・中退
空白期間がある場合は、理由を記入						
資格・ 免許			受賞歴	学内で所属する教育プログラム		
				なし・あり プログラム名 期間： 年 月 ~ 年 月		
語学力 (語学資格含) ※記入必須				海外経験 (留学・居住)		
(英語) 例: TOEIC800点(2022年7月受験)				(その他の言語)		
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に)				あなたの人間的な魅力が伝わる自己PR		
家庭状況	氏名	関係	年齢	現住所 (国・都市)	同居	勤務先・学校名 (課程)
生計	家庭からの給付	仕送り、小遣い等	有・無			月額 円
	アルバイト等収入	仕事内容				月額 円
	住居	実家・一人暮らし・その他 ( )	一人住まい・ ( )人住まい		自己負担月額 円	
奨学金等	受給中の奨学金等	有 (給付・貸与)・無		名称	受給金額(月額)	受給期間
	併願中の奨学金等	有 (給付・貸与)・無		名称	発表日	
年間授業料	現在	円	授業料免除	・受けている(下記に記入) ・受けていない		
			免除期間	年 月 ~ 年 月		
			免除総額	上記期間中の総額を記入 円		
	大学院進学以降	円	授業料免除制度	・あり ・なし ・分からない		
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に経済的支援を受けている場合は下欄に記入(自由記入)						
(例)○○大学助成金:年額●●万円						





家 庭 調 査 書												
申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次										
	学籍番号	_____	性別	男・女	現住所	〒 _____ 市 ( ) _____						
	フリガナ	_____				家族住所	〒 _____ 市 ( ) _____					
	氏 名	_____										
家 族 及 び 所 得	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額				
	就 学 者 を 除 く 家 族	父				年		万円	万円			
		母				年		万円	万円			
		父または母 死亡・離別の場合 時期 ( 年 月) 理由 ( )										
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 ( 年 月) 理由 ( )											
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
					年		万円	万円				
家 計 支 持 者 に ○ 印	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額				
	就 学 者	本人			筑波大学	国立		※自 宅 自 宅外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円			
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円				
家 庭 の 特 殊 事	特別控除項目		控除有無									
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 ( )	氏名 ( )	手帳番号 ( )	万円					
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 ( 千円)				認 定					
	アルバイト		月額 ( 千円) 内容 ( )				総収入金額	① 万円				
	奨学金	受給中	月額 ( 千円) 団体名 ( )				必要経費	② 万円				
		申請中	月額 ( 千円) 団体名 ( )				特別控除額	③ 万円				
	その他の収入		月額 ( 千円) 内容 ( )				総所得金額	④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数						家計充足率		⑥=④÷⑤×100			

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。  
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。  
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。